

相野谷川に団子2千個、活性液1トン投入



**NPO
緑の会**

特定非営利
活動法人
NPO緑の会
取手市小文間
3838-1
TEL 0297-
72-8791

この7月は第3回全国一斉EM団子・EM活性液投入の月です。私たちNPO緑の会は毎月第3土曜日の定例会の日に相野谷川にEMを投入していますが、7月19日は全国の仲間に応援して阿見緑の会や谷原西部土地改良区の皆さんにも加わっていただき、総勢45名でEM団子2,000個とEM活性液1トンを相野谷川に投入しました。また、当日はどんな魚が生息しているか調査のため、投網を使い、また前日仕掛けた仕掛網を引き上げました。その結果、投網では3cm位の鮒が、仕掛けには2cmほどのクチボソとザリガニが入っていました。

第3回全国一斉EM団子・EM活性液投入
相野谷川に45名の会員・会友が参加



終了後の懇親会



投網打ち



鮒



クチボソ

事前に購入した投網は、投げ方が難しく、結構練習しましたがうまくいけません。谷原西部土地改良区の方にベテランがいて、見事に網がバランス良く開いて、助かりました。

以前から鯉がいることは確認していましたが、相野谷川に鮒やクチボソがいたことは、今後も浄化活動を継続していくうえで、大いなる励みになると感じています。

「名橋日本橋保存会」が主催する 「日本橋橋洗い」に今年も参加しました。

名橋「日本橋」保存会が主催する夏のイベント「橋洗い」が7月22日(火)に開催され、NPO緑の会から今年も会員・会友が参加しました。昭和43年から続くこの恒例のイベントも、今年で44回目を迎えるそうです。



第3回 輪花書展

この八月、東京・大崎のO美術館で開催された第3回輪花書展に野田病院の金本ツギ子先生(雅号は金本耕花)の書が展示されていました。先生のコーナーには十数点の見事な書が掲げられていましたが、その

金本耕花先生
の力強く気品ある書に大勢の観客が食い入るように見つめていました。

橋洗いは、2時間ほどの間、橋の通行止めを行い、消防団の散水車による散水作業をすると、地域のファミリーや地元企業の有志など約1500人が協力し、一年分の汚れを柄付きたわし等でゴシゴシと洗い落としていました。

また、消防の梯子車は橋の上に架かる高速道路の橋げたの「日本橋」と書かれた看板に放水を浴びせ洗い流していました。

使われた石鹸はEM石鹸で川に流れても、その川を浄化してくれます。NPO緑の会のメンバーはバケツに入れたEM石鹸水を橋洗いに集まった群衆の間に配布する役割などを担って、その役割を楽しく果たしてくれました。

また、参加した大勢の子どもたちは消防車が放つ高水圧の放水におおはしやぎで、水しぶきを浴びてびしょびしょになりながらも本当に楽しそうでした。参加した地元の子供は、「また来年も参加したい！」と元気な笑顔で話してくれました。

編集後記 編集子も書展を訪れ、金本ツギ子先生に、書道を始めたいきっかけから、書の効用など詳しく説明をいただきました。お見かけは、本当にやさしくお小さい容顔のどきから、あのような力強く品格ある書が書けるのかと、考えてしまいました。スペースの都合で一点しか掲載できないのが残念です。

KF